

【別添1】「多業人口」(マルチワーカー)の現状推計と将来イメージ

「多業」(マルチワーク)とは、1つの“仕事”のみに従事するのではなく、同時に複数の仕事に携わる働き方を指すものとした。また、収入を得ることを目的として働いているものだけでなく、収入を伴わない“ボランティアやNPOの活動など”も含めて“仕事”と定義した。

※ここで、“ボランティアやNPOなどの活動”とは、継続的、自発的に社会貢献活動などを行う営利を目的としない団体(例:〇〇自治会、△△有志グループ、NPO法人××会など)に所属して何らかの活動をしていることとし、同活動に伴う収入の有無(有償か無償か)は関係ないものとした。

【ポイント】

「多業人口」(マルチワーカー)の現状推計と将来イメージを描くと、2006年時点で約1240万人となっており、2010年で約1550万人、2030年で約2440万人となる。

